

From Ibigawa S A B O

～ 日頃の備え・早めの避難が重要です ～  
6月は土砂災害防止月間

5月28日に気象庁より「東海地方は梅雨入りしたと見られます」と発表されました。例年より11日早い梅雨入りとなり、梅雨の長雨により地盤が緩み土砂災害が発生しやすい時期を迎えました。

私たちが住む日本列島は、急峻な山地や谷地、崖地が多く、地震や火山活動も活発である等の国土条件に加え、台風や豪雨に見舞われやすい気象条件であるため、土砂災害が発生しやすい環境にあります。

国土交通省と各都道府県では、昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。今年度は、土砂災害防止意識の普及、警戒避難・情報伝達体制の整備等を推進するため、行政のみならず住民参加を主とする諸行事や活動に重点を置き、国、都道府県、市町村等が連携し各種行事を実施します。

揖斐川上流域は土砂災害が発生しやすい地域

揖斐川上流域は、濃尾断層をはじめとする多くの断層が走っており、荒地が多く非常に脆弱な地質を有する地域で、過去に河道閉塞をもたらす大規模崩壊が何度も発生しています。また、この地域の年平均降雨量は3,000mmを超える日本有数の多雨多雪地帯です。降った雨が標高1,300m前後から一気に標高およそ50mまで流下するV字谷を形成している急流河川で、河岸に集落が点在し、谷底に国道や鉄道が走る土砂災害に対して弱い生活基盤を形成している地域です。

昨年9月この地方を襲った台風16号では、揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先周辺で降り始めからの総雨量が約600mmに達する豪雨に見舞われ、品又谷(しなまたたに)支溪ギラ谷で土石流が発生し、流下した流木と土砂が品又谷に架かる県道橋で閉塞・氾濫したり、国道303号へ土砂が流出し通行止めになるなど、周辺一帯で多数の土砂災害が発生しました。

土砂災害防止月間を機に、もう一度、身近に潜む土砂災害の危険性について確認しましょう。



平成25年度 土砂災害防止月間ポスター



品又谷橋梁閉塞箇所の復旧作業



国道303号への土砂流出状況

土石流



地すべり



がけ崩れ



土砂災害の主な前兆現象

“もしこんな現象を見たら…聞こえたら…”

土砂災害の危険が迫っています！できるだけ早く周りの人と安全な場所に避難する共に、市役所や役場など最寄りの公的機関や越美山系砂防事務所(又は、最寄りの国土交通省の砂防事業担当事務所)に連絡をお願いします。

【土石流】

- ・ゴォーと山鳴りがする
- ・雨が降りつづいているのに川の水が減っている
- ・川の水が急に濁ったり木が流れてきた

【地すべり】

- ・地面にひび割れができる
- ・溪流や井戸の水が濁る
- ・斜面から水がふき出す

【がけ崩れ】

- ・がけに割れ目が見える
- ・がけから小石がぱらぱらと落ちてくる
- ・がけから水が湧き出している
- ・がけから木の根がプチプチと切れる音がある

## 流木捕捉機能をUP！

本巢市根尾大井(ねおおおい)地先の大井谷に設置してある大井谷第1砂防堰堤(堰堤高 H=20.0m)及び、同市根尾越卒(ねおおつそ)地先の小砂谷(こさごたに)に設置してある小砂谷第1砂防堰堤(堰堤高 H=12.0m)において、流木の捕捉機能を高めるために堤体の一部を切り欠いて鋼製の流木止めを設置します。

昨年の台風16号の豪雨時に揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先のギラ谷で土石流が発生し、下流の品又谷(しなまたたに)に架かる橋梁を流木が閉塞し氾濫被害をもたらしました。このような流木による被害を軽減させるため、流木止めを設置し捕捉機能をアップさせます。施工は2箇所とも田中建設工業株が行います。



大井谷第1砂防堰堤



小砂谷第1砂防堰堤

## 砂防工事における 安全技術の向上に向けて

揖斐川流域で砂防工事を行う建設会社で組織する「砂防工事安全技術協議会」の総会が5月29日に開催されました。平成24年度に中部地整管内の工事で発生した事故発生状況や、当事務所管内で2件の事故が発生した状況を伝え、今後の工事の施工にあたっては、常に「安全」を心がけ、更なる安全管理体制を徹底し、事故発生がゼロとなることを願いました。



総会の様子

## 揖斐川流域 クリーン大作戦に参戦

5月26日に「2013 揖斐川流域 クリーン大作戦」が開催され、事務所職員も揖斐川会場へ参加しました。また、各工事受注者の技術者や作業員の方も最寄りの会場に参加しました。揖斐川会場では、地域住民の方や中学生など大勢の方が清掃活動に精を出していました。その一方、堤防道路沿いに捨てられたタバコの吸い殻の多さには閉口しました。堤防を覆う草に燃え移る恐れがあるため危険な行為です。タバコに限らず空き缶やペットボトルなど、ゴミをポイ捨てしないようにしたいものです。



揖斐川会場にて



坂内会場にて

## 水に浮くモルタル =大谷川=

揖斐川町坂内広瀬(さかうちひろせ)地先で工事を進める大谷川第3砂防堰堤道路工事(施工:株久保田工務店)において、現在補強土壁の施工を行っています。地盤の支持力が不足するため、中詰土による施工をやめ、エアモルタルを使用しています。エアモルタルはモルタルに発泡剤を混入・攪拌したもので、設定比重が0.67g/cm<sup>3</sup>と水より軽い材料で打設しています。



材料の品質確認試験



エアモルタルの打設状況

## 大規模土砂災害等に備えるために

5月26日に行われた天竜川上流水防演習に参加しました。訓練は大規模水害や土砂災害に対処するため、防災関係機関等の連携強化と地域防災力の向上を目指して行われ、訓練には中部地方整備局や長野県・地元市町村等が参加し、当事務所からは土砂法に基づく緊急調査に係る実働訓練に参加しました。訓練では、実際にヘリコプターに搭乗しVECTORを使って天然ダムと想定した目標物の高さの計測などを行いました。



投下型水位計の投下



VECTORによる計測

## 大野砂防部長が管内を視察

5月28日に国土交通省砂防部の大野部長が来所され、平成22年1月に山腹崩壊が発生し現在復旧工事が進められている八草川(はっそうがわ)山腹工事(施工:株久保田工務店)の進捗状況等を視察されました。

当日は梅雨入りの小雨交じりの天気でしたが、崩壊地最上流部の監視台までモノレールを使って上り、崩壊当時の様子や工事の施工状況に耳を傾け、最後には、急峻で過酷な現場で工事を進める作業員の労をねぎらっていただきました。



作業状況を視察する大野部長



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。  
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp](mailto:ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp)